

文教委員会資料

【議案審査資料】

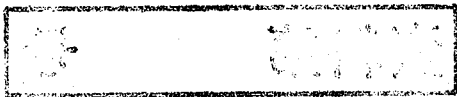
(令和4年2月25日)

議案番号	議案名	資料番号
議案第53号	文京区保育所における保育に関する条例の一部を改正する条例	資料第1号

【報告事項】

事項名	所管部課名	資料番号
1 文京区指定文化財の指定について	教育推進部教育総務課	資料第2号
2 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	〃	資料第3号
3 学校選択制度の実施に伴う令和4年度進路意向確認票の回答状況について	〃 学務課	資料第4号
4 インターネット施設予約システムの導入について	〃	資料第5号 (議案第54号)

() は関連する議案



文教委員会定例資料

【 子ども家庭部所管 】

- 1 令和3年度保育園等入園状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・幼児保育課

【 教育推進部所管 】

- 2 令和4年度学校（園）給食調理業務の委託事業者について・・・学務課
- 3 令和3年度児童館利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・児童青少年課
- 4 令和3年度教育センター利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・教育センター
- 5 令和3年度教育センター科学教育事業実施状況・・・・・・・・・・教育センター
- 6 令和3年度スクールカウンセラー相談活動実施状況・・・・・・・・教育センター
- 7 令和3年度スクールソーシャルワーカー活動実施状況・・・・・・・・教育センター
- 8 令和3年度区立図書館行事実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・真砂中央図書館
- 9 令和3年度区立図書館利用状況等・・・・・・・・・・・・・・・・真砂中央図書館

令和4年2月定例議会一般質問 教育長答弁

令和4年2月9日

文京みらい 松下 純子議員

3 マルチメディアデイジー図書について

- ① 配慮が必要な児童・生徒を含め、誰もが安心して楽しい学校生活が過ごせるよう、個々に応じた適切な合理的配慮の提供を早急に進めるべきであり、教育委員会及び学校関係者への理解徹底を願うが、伺う。

(答弁)

マルチメディアデイジー図書の有効性については認識しているところです。本年1月にご指摘の1校を含め、7校に導入しました。今後とも、必要とされる学校に随時導入してまいります。また、研修等を通して、同図書の機能が活かされるよう努めてまいります。

障害のある児童・生徒への合理的配慮として、一人ひとりの障害の特性に応じた学習方法や読書方法、必要な教材の導入を検討するとともに、研修などの機会を設け、教員等の理解促進を図ってまいります。

5 公共施設の在り方について

- ① 誠之小学校は、なぜ1学年4クラスに設定したのか、その根拠を伺う。
- ② 1学年5・6クラスとなっても、特別教室や誠之ホールを教室にせず対応できるようにするため、どのような設計の変更や追加を想定しているか。24教室のままとする場合は、その理由について伺う。
- ③ 2期工事の開始にあたり、1学年5・6クラスとなっても対応できる建物にするため、24教室に加え、あと6～10クラス分増やすべきと考えるが伺う。24教室のままとする場合は、その理由について伺う。

(答弁)

誠之小学校を改築するにあたっては、学校、保護者、地域のご協力のもと、改築基本構想検討委員会を設置し、普通教室の数を含め検討を行いました。年少人口の動態等に基づき教室数を推計した結果、各学年3教室が必要となることをお示しし、さらに、将来的に児童数の増加があっても対応できるよう、各学年4教室とすることが同委員会で合意され、平成27年、教育委員会において決定しました。

また、2期工事の設計変更は考えておりませんが、特別教室やその他スペース等の転用も視野に入れながら、校舎全体として普通教室を確保してまいります。

各種制限や諸条件のなかで、可能な限り子どもたちにとって良好な学習環境となるよう努めるとともに、児童数の推移を見ながら、必要とされる対策を適切にとつてまいります。

- ④ 本郷小学校について、新築以降に普通教室確保に向けた教室対策のためにかけた総経費を伺う。

(答弁)

普通教室の創出にあたり、理科室や家庭科室等の配管や、設備が付属する特別教室の移動を含め、学校全体として教室の配置を整理する必要があったことから、教室増設等に要した費用は、約6億円となっております。

- ⑤ 誠之小の幅木の施工は雑だと感じるが、教育長は教育の現場としてこれを可とするのか伺う。

(答弁)

学校の改築にあたっては、これまでも、工事完了後、必要とされる場合には補修を行ってまいりました。

誠之小学校においても、工事完了後、必要な個所の補修を継続的に行ってまいりましたが、本件を含め、適切な対応を速やかに行ってまいります。

また、今後改築が予定されている学校においても、区長部局と協力しながら、適切な工事に努め、子どもたちの教育環境を整えてまいります。

6 学校給食について

- ① グリホサートは、ごく微量でも毒性があると指摘されているため、安全性に疑いがあるものは使用しないという予防原則で対応すべきと考えるが、伺う。

(答弁)

学校給食では、食品衛生法の基準に適合した小麦を使用しております。今後も、国の基準等を満たした安全な食材の使用を徹底してまいります。

- ② 区の責任において安心安全な給食を無償で提供することを提案し、伺う。

- ③ まずは、区が独自に安全な食材を使用するために増える金額の差額補助からでも始めていただきたいが、考えを伺う。

(答弁)

現在のところ、給食費の無償化や上乘せ補助は予定しておりませんが、和食の日や交流自治体の応援給食等を実施する際には、食材費の差額補助を行っており、安全でおいしい給食を提供できているものと考えております。

引き続き、厳選して食材を購入することにより、安全安心な給食の提供に努めてまいります。

令和4年2月定例議会一般質問 教育長答弁

令和4年2月9日

創 宮崎 こうき議員

4 小日向台町小学校改築計画について

- ① 改築期間中も、良好な教育環境がしっかり維持されるよう考慮した計画にしている
ただきたいと考えるが、どのように工夫していこうと考えているか、伺う。
- ② 小日向台町幼稚園はじめ小日向台町児童館、小日向台町育成室は、今後も同じ敷
地内に改築し、地域の子育て環境を機能維持していただきたいと考えるが、伺う。

(答弁)

改築工事期間中の工法や工期、良好な教育環境の維持については、他自治体の先進事例や視察なども参考としながら、改築基本構想検討委員会の中で、議論を深めてまいります。

また、限られた敷地面積の有効活用が図れるよう、隣接する幼稚園・児童館・育成室との一体的な整備についても、同検討委員会の中で、丁寧な議論を進めてまいります。

令和4年2月定例議会一般質問 教育長答弁

令和4年2月14日

自民党・無 白石 英行議員

13 society5.0の教室プロジェクトについて

- ①ア 更に after コロナを見据えた授業展開を高める為に、全教科書のデジタル化はいつ頃に行われるのか、伺う。

(答弁)

本年度、4月から文部科学省による「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に小学校6校、中学校3校が参加し、デジタル教科書を活用した実践を行っております。

また、次年度については、すべての区立小学校5・6年生及び中学校全学年を対象に本事業の実施を申請しており、英語と他の1教科の計2教科で、デジタル教科書を利用できるよう、準備を進めております。

全教科への導入については、引き続き、国の動向を注視し、検討してまいります。

- ①イ 授業中のセキュリティを高めるため、過去にはスカイメニューが活用されたようだが、セキュリティの導入はいつされるのか、伺う。

(答弁)

各タブレット端末には、既に、セキュリティソフトを導入しております。

加えて、保護者の同意をいただいた上で、通信状況や閲覧記録等の操作ログを収集しており、不適切な利用により、問題が発生した場合には、それらの分析を行ってまいります。

また、学校では、セキュリティ対策やネットワーク上のルール、マナーなどについて、発達段階に応じた「情報モラル教育」を繰り返し行い、児童・生徒が安心してタブレット端末を活用できるよう取り組んでおります。

- ② 働き改革を含めた取組状況で児童生徒及び保護者への成果と課題について伺う。

(答弁)

現在、児童・生徒に一人1台、配備したタブレット端末を活用し、Society5.0時代の到来を見据えた、従来の指導方法にとらわれない新しい授業スタイルの創造に向けた授業改善を進めているところです。

また、対面授業と遠隔・オンライン授業を同時に行う「ハイブリッド授業」を実践することで、新型コロナウイルス感染症への不安や病気療養等により、学校での対面授業を受けられない状況にあっても、児童・生徒の学習を継続できるようにしております。

さらに、すでに一部の学校で行っている ICT を活用した保護者からの欠席連絡や、学校からの配付物のデジタル化を進めることで、校務負担の軽減を図ってまいります。

令和4年2月定例議会一般質問 教育長答弁

令和4年2月14日

日本共産党 小林 れい子議員

2 新型コロナウイルス感染症対策について

⑧ア 区内小中学校、幼稚園での感染者数と対策の現状、課題を伺う。

(答弁)

小・中学校及び園の感染者数は、昨年11月から本年1月末までの期間で約360名となっております。

感染対策については、マスクの着用や3つの密の回避、換気など、基本的な感染症対策を再度徹底するとともに、可能な限りの対策を講じても、感染リスクが高いと判断される教育活動については、実施を控えております。

また、児童・生徒等の感染が確認された場合には、国や都のガイドラインを踏まえ、学級閉鎖等の措置を適切に講じるとともに、任意のPCR検査を実施し、感染拡大の防止に努めております。

課題は、複数の教員に感染や濃厚接触が確認された際に、児童・生徒の学びを継続できるようにすることであり、教員が自宅から行うオンライン授業の実施に向けた体制づくりなどを進め、引き続き、学びの保障に努めてまいります。

4 育成室の待機児童対策と質の確保について

① 「民間活力を生かした手法による施設整備」を取り入れる際、物件の確保を盛り込んだ運営提案をプロポーザル方式で行うことで、提案事業者優先になってしまうことはないのか、事業者間の競争性や保育の質、安全の確保はできるのか、伺う。

(答弁)

プロポーザル方式による育成室運営事業者の選定については、指定地域内において整備物件の候補を探すことを条件に、運営内容等を審査するものであり、事業者間の競争性は担保されているものと認識しております。民間活力を生かし、必要な地域にスピーディーに整備するために取り組んでいるものです。

物件については、区が育成室に求める基準を備えたものを提案することを要件としており、保育の質や安全性についても審査の中で適切に確認してまいります。

② 区として、都型学童や民間学童に対しても、保育の環境や職員体制などを確認する「実態調査」を行うべきではないか、伺う。

(答弁)

都型学童クラブについては、区の育成室に準じた設備を備えることや、運営に係る基準を順守することを前提に区からの補助が行われている事業であり、地区館長

の巡回指導に加え、毎年の補助手続きの中で、運営実態を定期的に把握できているものと考えております。

一方、いわゆる民間学童については、児童福祉法に基づく事業ではなく、運営には、特別な資格や届出を必要としません。また、区には指導権限や指導基準等もないことから、民間学童に対する実態調査を行う予定はございません。

なお、区の事業と誤認されかねない表現については、正しい表現に改めるよう事業者に注意しております。

6 生理の貧困について

- ① 区では、小中学校の保健室および一部の保健室近くのトイレにも生理用品を置いたとのことだが、児童生徒たちが気兼ねなく使えるようトイレに常備することを求め、伺う。
- ② 臨時的措置ではなく今後も継続させていくため、区独自の予算措置とともに、国や都からの支援も求めるべきだが、伺う。

(答弁)

現在、小中学校では、養護教諭が中心となって、児童・生徒が相談しやすい環境作りを進めるとともに、気兼ねなく生理用品を使用できるよう様々な工夫をしております。

引き続き、各学校における利用状況を見極めながら、更なる対応について検討してまいります。

また、生理用品の配備については、現在の予算の範囲の中で、継続的に対応できるものと考えておりますが、国や都からの支援があった場合には有効に活用してまいります。

令和4年2月定例議会一般質問 教育長答弁

令和4年2月15日

自民党・無 浅川 のぼる議員

5 青少年の社会参加推進と地域の後継者育成

- ① まちを地元地域から活性化する意味でも、生徒会やb-labをはじめ、青少年委員会や青少年健全育成会の協力のもと、中高生世代の社会参加につながる事業を、区としても危機感を持ってバックアップしていただきたいと願うが、区の考えを伺う。
- ② 地域の担い手を育てるためにも、湯島に続く第2の青少年プラザの設置が必要であると思うが、区の考えを伺う。

(答弁)

地域の中高生世代の育成については、長年にわたり、青少年健全育成会や青少年委員などと連携し、取り組んでまいりました。

近年では、中高生世代において、地域社会との関わりに変化が見られる中、社会参加のきっかけとなるよう、湯島青少年健全育成会のイベントに、青少年プラザ利用者がボランティアとして参加する取組などを実施してまいりました。

今後は、同様の取組を各地域の青少年健全育成会に展開していくとともに、地域の様々な主体と協働し、中高生世代の社会参加が促進されるよう努めてまいります。

こうした取組を継続することは、地域のリーダーとなる青少年の育成に寄与するものと考えております。

なお、青少年プラザの拡充については、地域バランスを考慮し、検討してまいります。

令和4年2月定例議会一般質問 教育長答弁

令和4年2月15日

日本共産党 金子 てるよし議員

2 教育環境の整備等について

- ① 昨年の小中学校特別教室の改修基礎調査の結果、改修工事が必要である劣化度3、4が、小中学校で計18校202教室で確認されたが、今年度改修を実施するのは根津小学校のみである。順次計画しないのか、伺う。
- ② 改修基礎調査結果をもとに、来年度は設計を大幅に増やし先を見ての計画が必要であるが、併せて伺う。
- ③ 「文の京」総合戦略には特別教室の改修計画は示されておらず、令和5年度までの総合戦略で「子どもたちの良好な教育環境の確保」を目指すことと謳っており、財政状況はコロナ禍にあっても堅調であることが明らかなことから、改修計画を明確に示すべきであるが、伺う。

(答弁)

特別教室を含む、学校施設の改修につきましては、「文の京」総合戦略に基づき、教育活動に支障が無いよう配慮しながら進めており、毎年更新している戦略シートの事業計画及び年度別事業計画書において、改修計画をお示ししております。

施設改修にあたっては、緊急度、重要度及び優先度などを見極めながら、計画的に工事を進めてまいります。

- ⑦ 来年度は小学校3年生の35人学級が実施され、すでにこれに対応した教室増設が行われているが、来年度の基本設計、改修工事などの予定を伺う。

(答弁)

本郷小学校、林町小学校及び湯島小学校の三校は、来年度、当初より、増築等の設計を進めてまいります。また、指ヶ谷小学校についても、児童数を注視し、必要に応じて増築の検討を行ってまいります。

- ⑧ 教員の健康保持と代替の体制を速やかに行うためにも、抜本的な教員数増員を東京都に要望すべきであるが、伺う。また、区としても教師の確保など取り組むべきと考えるが、伺う。

(答弁)

正規教員の配置については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等に基づき、国や都の責任において行われており、都への増員要望や、区における独自採用を行う考えはございません。

3 コロナウイルスによる休校時の「オンライン授業」について

- ① コロナ休校時においても学びを止めず、教員の負担を軽減しながら質の高いハイブリッド授業を行うためには、せめて感染拡大時には ICT 支援員を全小中学校に常駐で配置するなどの支援強化なしに、今後も続くと予想されるコロナ禍に対応できないが、伺う。

(答弁)

感染の急拡大期に対応するため、都が新たに設けた支援策を活用し、時間講師の時数拡大やスクール・サポート・スタッフ、ICT 支援員の追加配置について検討してまいります。

- ② 他区では、感染状況を見て自宅でのオンライン学習か、登校しての学習かを児童、保護者が選択することも可能にしており、本区でも検討すべきではないか、伺う。

(答弁)

学校では様々な感染症対策を講じた上で、体験的な活動や、行事、部活動など、学校でしか経験できない活動を継続できるよう努めております。

また、感染の不安から登校を控えている児童・生徒については、一人ひとりの状況に応じて、自宅からオンラインでの授業等を受けられるよう、体制を整えております。

引き続き、学校での活動を継続しながら、全ての児童・生徒が安心して学べるよう努めてまいります。